

# ★ 感染症発生動向調査情報 ★

2023年9月14日発行 大阪市感染症情報センター

## 第36週のトピックス（2023年9月4日～2023年9月10日）

### 「インフルエンザ 全11ブロックで増加」

第36週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,197例であり、前週比12.3%増であった。定点あたり報告数の第1位は咽頭結膜熱で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.92、2.96、2.54、0.81、0.48である。

咽頭結膜熱は前週比22%増の768例で、中河内5.68、堺市5.63、大阪市南部4.94、泉州4.19、大阪市北部3.86であった。

感染性胃腸炎は7%増の581例で、中河内4.95、南河内4.75、大阪市南部3.67である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%増の497例で、南河内3.81、大阪市南部3.28、堺市3.16であった。

流行性角結膜炎は17%増の42例で、大阪市西部2.50、中河内1.60、大阪市東部1.00である。

ヘルパンギーナは3%減の94例で、中河内1.05、堺市0.68、大阪市東部0.60であった。

インフルエンザは60%増の1,189例で、定点あたり報告数は3.90である。大阪市西部6.07、南河内5.42、北河内4.71、豊能4.51、堺市4.10であった。第33週に流行開始の目安1を超えて以降、4週続けて増加している。2023年8月に大阪府内で検出されたインフルエンザウイルスはすべてAH3であった。

新型コロナウイルス感染症は2%増の4,458例で定点あたり報告数は14.62である。泉州18.03、堺市17.93、北河内15.88、南河内15.79、大阪市南部14.56であった。年齢別では、1歳から19歳で48%を占め増加しているが、それ以外の年代では減少している。

(注) このトピックスは、大阪府全域のデータをもとに作成しております。

## ★ センター事務局から定点の先生方へのお知らせ

◆各定点医療機関へのごお願い：患者の発生がなくても、必ずご報告お願いします。

2023年第37週の報告は、**2023年9月19日(火)午前中まで**にお願いします。

◆2023年第36週の全国感染症情報(還元情報)を送付します。

### お問い合わせ先

大阪市保健所 感染症対策課

〒545-0051

大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7-1000号

あべのメディックス内

TEL 06-6647-0656

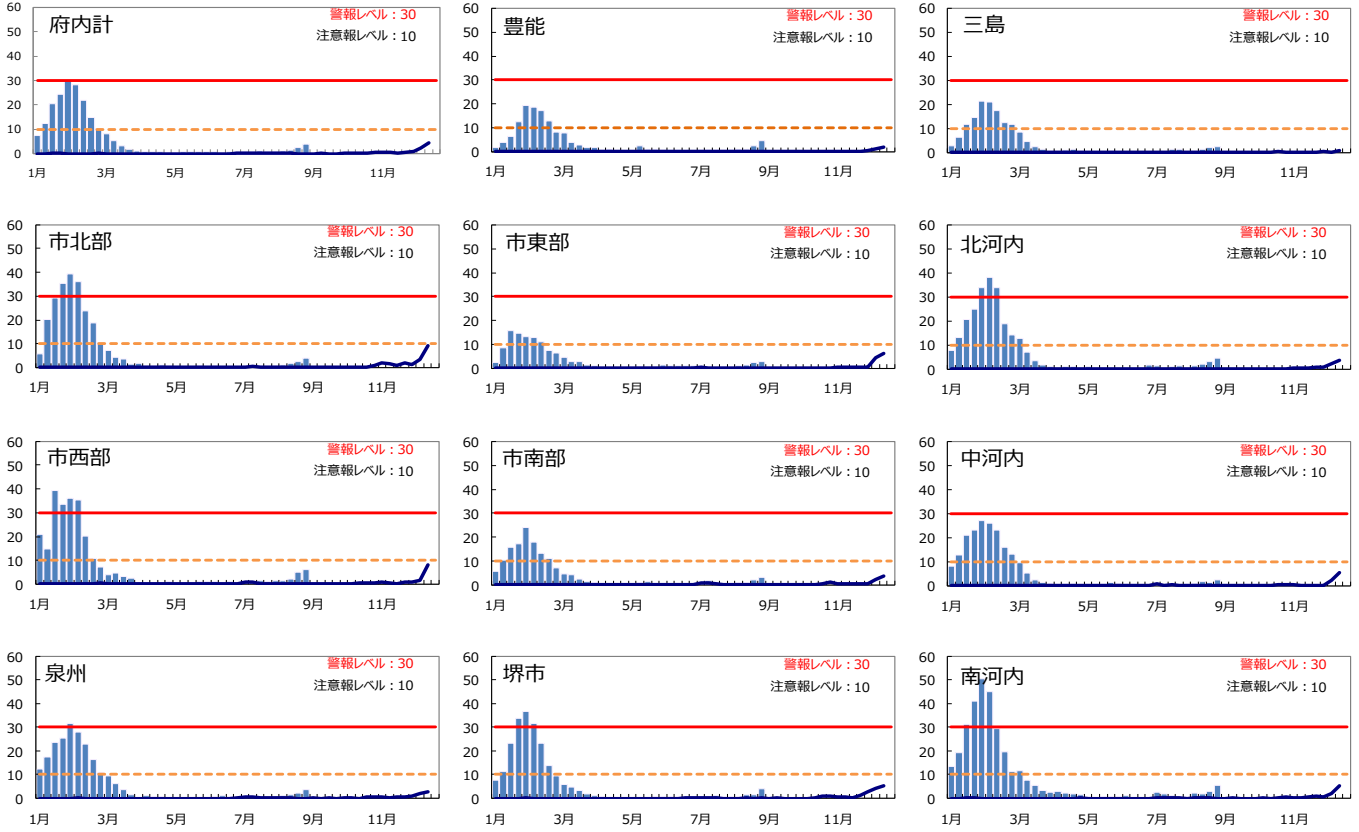
FAX 06-6647-1029

Email [fc0019@city.osaka.lg.jp](mailto:fc0019@city.osaka.lg.jp)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000025741.html>

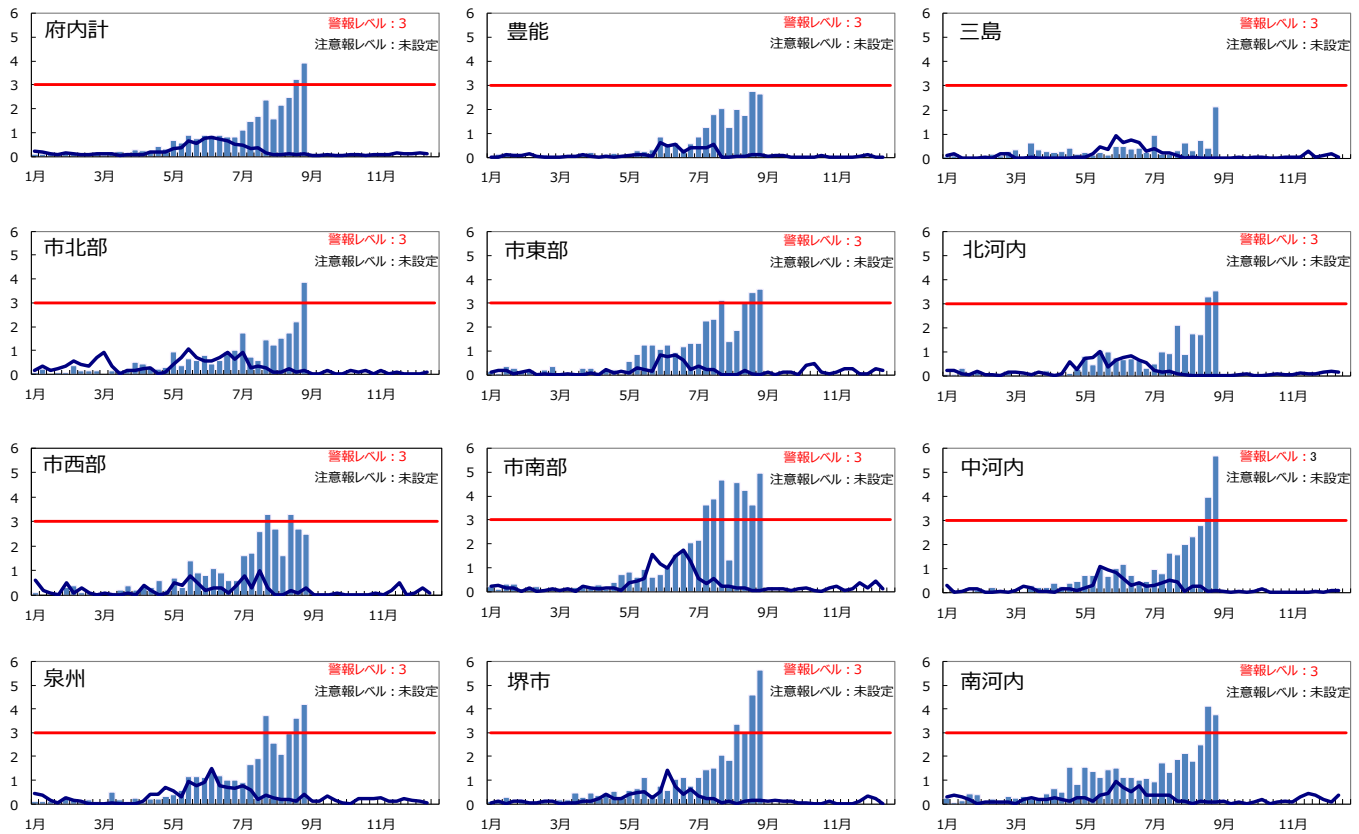
# インフルエンザ

線(2022年1週~2022年52週) 棒(2023年1週~2023年36週)



# 咽頭結膜熱

線(2022年1週~2022年52週) 棒(2023年1週~2023年36週)



感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2023年9月12日

第36週 2023年9月4日～2023年9月10日

(ブロック別)

(年齢別)

ブロック名		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計	年齢区分	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部																	
定点数	小児科	23	16	25	19	16	19	21	14	10	15	18	196																
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52																
	基幹	2	2	2	2	2	2	1	4				17																
	インフルエンザ*	37	26	41	30	24	29	34	20	15	22	27	305																
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	1	3	11	8	7	3	10	11	6	9	4	73	R	16	13	19	9	5	5	2	4	0	0	0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱	61	34	88	108	60	107	88	54	25	54	89	768	咽	2	29	127	161	129	137	82	51	24	10	2	8	1	5	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	26	76	59	61	60	66	17	23	31	59	497	A	0	7	22	53	81	64	66	56	43	32	21	31	7	14	
	感染性胃腸炎	51	48	49	94	76	53	63	43	14	24	66	581	感	14	52	99	53	59	45	38	30	22	37	23	65	17	27	
	水痘	0	0	2	10	1	0	0	1	0	0	1	15	水	0	1	2	2	3	1	2	0	2	0	2	0	0	0	
	手足口病	4	8	16	9	5	5	5	5	2	2	3	64	手	0	3	23	11	13	6	6	0	0	0	1	1	0	0	
	伝染性紅斑	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	伝	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	突発性発しん	3	1	6	10	5	1	4	2	2	1	7	42	突	1	8	23	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヘルパンギーナ	5	3	9	20	8	13	10	6	1	9	10	94	へ	1	15	19	13	10	9	8	6	3	3	2	2	0	3	
	流行性耳下腺炎	1	1	1	2	5	0	1	1	0	1	1	14	流	0	0	1	1	2	1	3	1	0	2	0	2	0	1	
把握科定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	流行性角結膜炎	2	4	1	8	4	5	3	3	5	6	1	42	流	0	2	4	4	1	2	3	1	0	3	0	1	1	20	
合計		148	128	260	328	233	247	252	145	78	137	241	2197	合計	34	130	341	312	307	272	210	150	94	87	51	110	26	73	
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0				1	細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0				1	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	1	0	0				1	マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	167	67	193	72	130	119	122	81	91	63	84	1189	イ	6	13	18	35	68	61	47	52	62	80	55	332	147	213	

2023年9月12日

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第36週 2023年9月4日～2023年9月10日

ブロック名	1 豊能	2 三島	3 北河内	4 中河内	5 南河内	6 堺市	7 泉州	8 大阪市 北部	9 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	37	26	41	30	24	29	34	20	15	22	27	305
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	473	336	651	428	379	520	613	261	157	247	393	4458
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	12.78	12.92	15.88	14.27	15.79	17.93	18.03	13.05	10.47	11.23	14.56	14.62
	過去5週間定点あたり報告数											
35週	12.70	12.04	15.80	12.20	16.83	18.45	17.59	13.50	10.93	10.57	13.74	14.35
34週	12.03	12.19	13.10	7.77	13.13	16.25	13.12	12.10	10.13	11.95	13.44	12.40
33週	12.06	9.19	15.90	7.20	18.63	13.71	10.79	13.10	9.60	8.05	10.15	11.88
32週	10.51	9.60	11.85	6.33	13.25	15.93	11.53	10.85	10.53	6.00	4.85	10.23
31週	12.83	11.00	14.02	10.97	16.35	19.07	14.47	14.00	10.00	11.36	14.59	13.69

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	167	443	656	1049	285	313	335	385	276	300	249	4458
	4%	10%	15%	24%	6%	7%	8%	9%	6%	7%	6%	

全国感染症集計 2023年36週(09月04日～09月10日)

1～4類・5類(全数把握)・指定感染症	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
急性灰白髄炎	0
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0
中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0
コレラ	1
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	127
腸チフス	1
パラチフス	0
E型肝炎	6
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む)	0
A型肝炎	1
エキノコックス症	0
エムボックス	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサナル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群	2
腎症候性出血熱(HFRS)	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	3
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	11
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群(HPS)	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	1
野兎病	0
ライム病	1
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	41
レプトスピラ症	8
ロッキー山紅斑熱	0

1～4類・5類(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	5
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	34
急性弛緩性麻痺(ポリオを除く。)	2
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	9
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	9
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	7
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	21
水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)	4
先天性風しん症候群	0
梅毒	184
播種性クリプトコックス症	3
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	10
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	22,111	4.48
COVID-19	99,744	20.19
RSウイルス感染症	1,649	0.52
咽頭結膜熱	3,964	1.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4,849	1.54
感染性胃腸炎	10,109	3.22
水痘	335	0.11
手足口病	4,326	1.38
伝染性紅斑	85	0.03
突発性発しん	862	0.27
ヘルパンギーナ	2,903	0.92
流行性耳下腺炎	145	0.05
急性出血性結膜炎	16	0.02
流行性角結膜炎	450	0.65
細菌性髄膜炎	12	0.03
無菌性髄膜炎	15	0.03
マイコプラズマ肺炎	9	0.02
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.00

定点数	報告数
インフルエンザ/COVID-19	4,941
小児科	3,144
眼科	696
基幹病院	480

8月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2,632	2.68
性器ヘルペスウイルス感染症	821	0.84
尖圭コンジローマ	529	0.54
淋菌感染症	827	0.84
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,328	2.79
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	99	0.21
薬剤耐性緑膿菌感染症	8	0.02

定点数	報告数
STD	981
基幹病院	476

注意 記載データは速報性を重視してありますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。